

市政を問

平成25年第3回定例会 代表質問の質問事項・答弁の要旨

内容は各議員が一定のスペース内で自由にまとめたものを代表質問の順番で掲載しています

井澤市長のバランス感覚に大いに期待する



自民党新政クラブ 田中 政義

1. 財政再建について

問) 厳しい財政状況の中、これまで民間にお願いできるものは民間に、としてきた。井澤市長もPPPと題し方針を出されたが具体的には？

市長) 特に新しい事の意味ではなく、非常に厳しい財政運営の中、公共と行政が連携して市民力を利用しながら進めていく事であり、財政の負担が少しでも軽減されるような形で進めていきたい。

2. 市民力の活性化について

問) どのような分野でどのような方法で引き出していかうと考えているのか？

市長) 歴史や文化的といった静的なイメージがある国分寺からもっと魅力を発信する事も含めて躍動するような国分寺を求めていきたい。市民の方々を持つ知恵や企業、団体等を持つノウハウは国分寺の財産である。多くの方に市民として市と一緒に地域のために活躍して頂けるような政策を考え、進めていきたい。

3. ぶんバス新規ルートについて

問) 現在3ルートで検討されており、この秋から試験運行されると認識しているが。

市長) 具体的な進行状況を精査したところ、警視庁協議が整っておらず、まだ実施できる状態でない事がわかった。遅れている事に対しお詫び申し上げますと共に、少しでも早く実現できるように組織の整備も含めて整えてまいりたい。

4. 都市基盤整備について

問) 具体的な進め方、市長の考えは？

市長) 都市マスタープランによって進めていく。平成25年度から3カ年で改定を行って行く中で、まちづくりのプロセス、優先度や具体化について明確化していく事で整備を進めていく。

5. 市役所庁舎の建設について

問) 新庁舎の検討は急務であると思うが、市長はどのように進めていくつもりか？

市長) 基礎的なデータや建設手法を研究しながら進めていきたい。財政上の折り合いをどのようにつけるかが一番大きな問題だが、市民の皆様が納得頂ける形で計画を練ってまいりたい。

思いやりの心あふれる市政の実現を



公明党 木島 たかし

●厳しい市財政をどのように克服するのか

木島) ①市長自身の市財政の現状認識は。
②その状況を踏まえどう改革に取り組むのか。
市長) ①いまだに400億を超える借金があり、基金も少ない。厳しい状況だと認識している。
②決算上生じる多額の不用額の精査や、民間の力を借り資金を外部から導入をする等、創意工夫と知恵で税収だけに頼らず財源を確保したい。
●事業進行管理とスピード感の意識改革を

木島) 重要事業に指定されているにも関わらず、成果が挙がらない事業が散見される。また市民との信頼関係を築く上で、相談を受けたことに対して出来る限り速やかに返答をするべき。

市長) 厳格に行い、改善に向けて取り組みたい。

●市民本位で「縦割り行政」からの脱却を

木島) 縦割り組織の弊害をどう取り除くのか。
市長) 市長、両副市長、教育長の四者が連携し、各部署で必要な限り連携し、相互にプロジェクトを組む等、柔軟な体制を築きたい。

●国分寺駅北口再開発の実現に全力を

木島) 職員のミスが相次いでいる。危機感を強く持ち、油断を排することに尽きる。

市長) 財政にも大きく影響し、市の命運をかけた事業であるとの認識で事務に当たっていく。

●いじめのないまち国分寺の実現を

木島) 仮称「いじめ虐待防止条例」制定に向けた取り組みを早急に開始すべき。

市長) 年度内をめどに制定に向け取り組む。

●安心の保育環境の整備を

木島) 待機児解消には障がい児への対応も含まれることを強く認識いただきたい。

市長) 民設園の増園等で解消に向け取り組む。

●ぶんバス新規ルートの対応方針について

木島) 新規ルート試験走行の延期をどう認識。

市長) 遅れていることをお詫びし全力で取り組む。

●市民サービスを向上させるための改革を

木島) 所信表明で触れられた「国分寺版・新しい公共の可能性に挑む」の考え方は。

市長) 事業の特性に応じて民間や市民と共に協力しながら進めていく、という考えだ。

市民の暮らしを
守り支える市政に転換を

日本共産党国分寺市議団 岡部 宏章

＜国政について経済政策、憲法、原発＞

岡部) 国の施策いかんによっても国分寺市民の暮らしが大きく左右されることになる。国政の重大問題について市長の姿勢を問う。

アベノミクスでは国民の暮らしや経済はよくなるかと思える。賃金を引き上げることが経済を再生させる道だ。

市長) アベノミクスの効果が労働者の賃金にまで早く反映されることを期待している。

岡部) 社会保障の大幅な切り下げや負担増はやめるよう国に意見を述べるべき。

社会保障のためとの理由で消費税増税する一方で社会保障を削減する計画で増税の目的は完全に破綻している。

市長) ふえ続ける社会保障費をどうやって賄っていくのか、消費税を目的化して上げる必要性が私はあると思っている。

岡部) 憲法9条の平和主義は国分寺市の平和の取り組みの大前提。憲法解釈の変更、明文改憲いずれも行うべきではない。

(この点については市長は見解を述べず)

＜北口再開発で市民を犠牲にしているのか＞

岡部) 北口再開発の推進はとりもなおさず星野前市長の政策をそのまま進めること。再開発推進のもとで市民生活に多大な負の影響を及ぼし

てきた。国分寺市政最大の問題点だと考える。

市長) 私はそう思っておりません。

岡部) そもそも再開発という莫大な予算を要する事業を市政の最優先課題と位置付け推進してきた方針そのものが根本の誤りだった。

自転車駐車場の問題では、鉄道事業者へ責任と負担を求めるべきことを改めて訴える。

＜保育などの事業を民営化すべきでない＞

岡部) あくまで市が保育実施に対する責任を果たすべき。保育水準を低下させてはならない。全体計画を進めるのではなく、現状の公設公営6園の維持を大前提とすべき。

市長) 民間が公設に劣るとは考えていない。

岡部) 市がこれまで福祉や教育などの現場で積み上げてきたものを手放してはならない。

財政が厳しいからこそ
優先順位を明確にせよ

国分寺・生活者ネットワーク 片畑 智子

問) アウトソーシングはコスト削減が目的ではなく、あくまでも市民サービス向上を目指すべき。質の確保に向け「適正な価格を算出」することを、改めて庁内各課に徹底せよ。

市長) 質の低下を招いてはいけぬ。公共調達条例の趣旨にのっとり、総合的な選定を行う。

問) 道路行政について、今後どのように優先順位をつけ、具体的に実行していくのか。

市長) できる限りの対応をすべきと考えるが、財政的にも非常に厳しい。考慮しながら進める。

問) 現在ある約300もの市の施設について、長期的な視点を持ち、人口増減や年齢構成、住民ニーズなどの変化を踏まえた施設の配置・再編・更新計画を持つべきと考えるが、いかがか。

市長) 更新費用の試算は約480億円となる。公共建築物の情報管理台帳を6月に作成し、今後は検討委員会を立ち上げ、計画策定を進める。

問) 必要な事業に十分な予算を確保するには、事業の統廃合という厳しい選択も求められる。市民への説明責任も含め、市長に覚悟はあるか。

市長) 事業を取り止めることについては、非常な決断と丁寧な説明が必要であると思っている。

問) 市民等と行政との協働だけではなく、市民団体と市民団体、市民団体と事業者、大学と事業者など、様々な連携・協働がある。国分寺市版の新しい公共をつくっていただきたい。

市長) 実績が得られるような民間との協働、民間同士との連携を図っていきたく考えている。

問) 芦屋市の「お困りです課」を参考に、広聴を兼ねた市民の総合相談窓口の開設を求める。

市長) 必要性は感じるが、研究させてほしい。

問) 障害者や高齢者の置かれている状況や状態、課題は様々である。個別詳細な具体策を。

市長) 施策のすき間にあるために、サービスを受けられないとか不自由な状況にあるということ解消していきたいと思っている。

問) (仮称) いじめ虐待防止条例策定において、市民参加・子ども参加は不可欠と考える。

市長) 子どもの側やいろいろな方のご意見は聞いていく必要があるだろうと思う。